

【5】宇久地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい宇久のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！
～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日程：平成19年12月22日（土）

内容：●お茶の間クイズ
●地域マップづくり
●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは宇久地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う宇久地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 魚や野菜がおいしい
- 美しい自然がたくさん残されている
- 子どもが明るく素直であいさつもいい

【気になるところ】

- ガソリンなどの物価が高い
- 人口が年々減っている
- 交通の便（船便が少ない）が悪い

\\ 皆さんも宇久地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましよう！ //

問1 神島神社は、文治3年(1187年)に平家盛公が創設された神社です。この神社の鳥居のそばには2本の石灯籠が奉獻されていますが、その灯籠の上に乗せられているのは次のどの動物の像でしょうか？

- ①しか ②くじら ③あしか

問2 宇久風力発電所の、発電のために取り付けられているローター(プロペラ)の直径は何メートルでしょうか？

- ①2.6メートル ②4.6メートル ③5.6メートル

問3 宇久島を含む五島列島は日本本土の西、東シナ海に浮かぶ島々からなり立っています。その東シナ海に浮かぶ島々は全部でいくつあるでしょうか？

- ①141島 ②208島 ③400島



※答えはP8の下にあります。

第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！

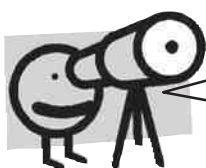
～ 小さなことでも地域のために ～

日程：平成20年1月19日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム

●気になり具合診断

●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問題】

空き缶などをポイ捨てしている人がいる



【“みんなにできること”の意見】

- 空き缶は持ち帰り、資源ごみに出す
- 目についたごみを拾うようポスターなどでも呼びかける
- 空き缶拾いなどを通じて一人ひとりの美化意識を高め、マナーの向上を促す

参加した皆さんの感想から

◎住民同士が意見交換をしながら考えることができ、良かった。住民自身ができることに取り組むための意識啓発につながった。

◎年齢を問わず地域の課題を考えることは有意義。年齢を超えて共通認識を持つことができた。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、宇久地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。

この“お茶の間トーク”での意見を基に、策定委員会が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！

